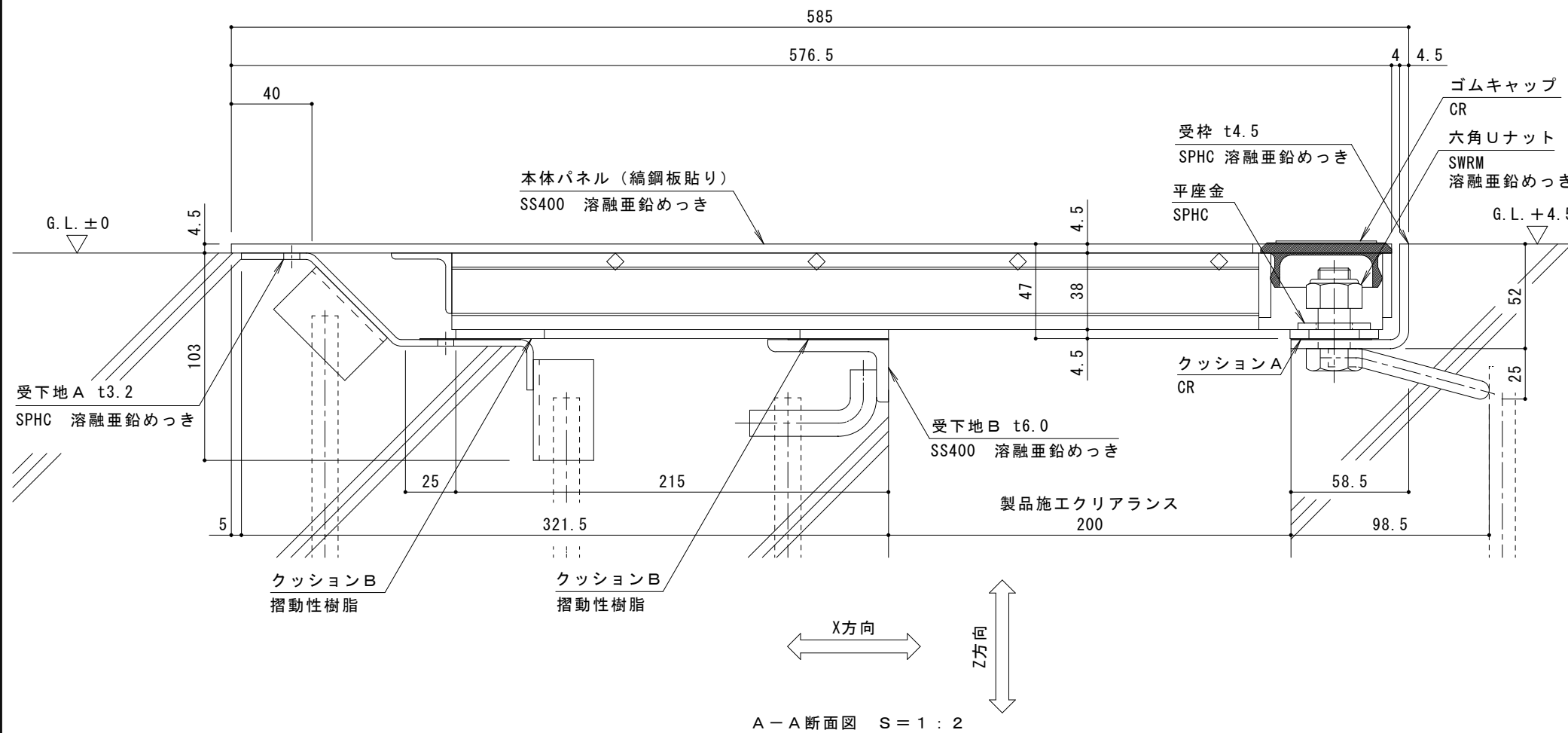


平面図 S = 1 : 10



A-A断面図 S = 1 : 2

部材名	床部人工地盤エキスパンションジョイントカバー
使用場所	立体駐車場
製品施工クリアランス	200mm
設計可動量	X方向:200mm Y方向:10mm Z方向:10mm Y方向の値は本体パネル端部に10mmのすき間を設けた納まりの場合です
構造	全面縞鋼板タイプ
機構の分類	X方向:片側せり上がり式 Y方向:スライド式
本体パネル材質	スチール SS400
本体パネル表面処理	溶融亜鉛めっき
本体パネル寸法	576.5mm×998mm×47mm
品番	カネノウEXジョイント WJX-GCP-R5-200-200

強度 (標準時)	
強度	R5 (輪荷重5トン) : 車両制限令に基づき、通行する車両の最高限度である、総重量25,000kgf、1輪荷重5,000kgfまでの車両の乗り入れが可能
設置場所	建物外周部、車道以外で車両の乗り入れる可能性のある場所、人工地盤部 (コーナー部は歩行用の強度となります)
車両進行方向	横断方向、縦断方向
衝撃係数	0
荷重	後輪1輪にかかる荷重 50.0kN
タイヤ接地面積	200×500 mm

ご採用、ご使用の際の留意点

地震時に人工地盤が大きく変位した時、エキスパンションジョイントカバーが大きく可動することにより、その相対変位を吸収する構造ですが、その周辺にいる人に危害を与える可能性があります。

地震時には、エキスパンションジョイントカバーの製品上および可動範囲よりすみやかに移動してください。

建物利用者や通行人に地震時に動く可能性があることが理解され、その範囲内にはできるだけ近づかず、速やかに通過してもらえよう注意喚起 (屋外サインや表示プレートなど) の設置が必要です。

表示プレート内容例

危険

地震時、床がせり上がります。

危険

地震時、床がせり上がります。

地震時に、エキスパンションジョイントカバーの本体パネル上を車両が通過している場合、本体パネルがせり上がり、エキスパンションジョイントカバーや車両が、損傷・変形する恐れがあります。

エキスパンションジョイントカバー上に車両を駐車している場合、地震時にエキスパンションジョイントカバーや車両が損傷・変形する恐れがあります。

訂正	年・月・日	内 容	製 図	検 図	備 考	工事名称	製 図	検 図	作成年月日	カネノウ株式会社
						図面名称 EXジョイント人工地盤用 スチール縞鋼板製 WJX-GCP-R5-200-200	近藤尚文	中村亮裕	2023.08.21 縮尺 図示	